岩崎城だより

No.53
2021/7/1

「夏に」

特別展　「にっしんの神社仏閣」

日進市内の寺社にまつわる展示を通して、日進の人々がどのように神仏を崇拝し生活してきたのか、その信仰の歴史を紹介します。また、神仏への祈願や祭礼に関連して馬の頭や棒の手なども取り上げます。

館長のおはなし

今年の7月23日より東京オリンピックが開催されます。オリンピックは世界的なスポーツの祭典で、多くのスポーツが行われます。東京オリンピックでは野球とソフトボールが復活しますが、日本で人気のスポーツです。人気スポーツになった野球の歴史を少しご紹介したいと思います。

日本に野球を伝えたとされるのは明治4(1871)年に来日し、第一大学区第一中学校（現在の東京大学）で教鞭をとったホーレス・ウィルソンで、生徒に野球を教えました。その後、早慶戦が始まるなど日本で急速に人気が高まりますが、その反動で「野球害毒論」が登場し、野球は勉学に悪影響であると論じる教育者が現れる時代もありました。そして大正4(1915)年、全国中等学校優勝野球大会（現在の夏の甲子園）が開始されました。

現在のプロ野球に繋がる日本職業野球連盟は昭和11(1936)年に発足しましたが、野球の人気は学生野球で、戦後しばらくの間までプロ野球は不人気でした。このような紆余曲折の歴史があり、今の野球に繋がっています。東京オリンピックではどのような歴史を紡いでいくのでしょうか。

イベント情報

「日進市菊花大会 菊づくり講習会」 第2回 7月3日 10:00～ 第3回 8月7日 10:00～ 第4回 9月25日 10:00～ （全日受講できなくてもかまいません。）	初心者の方でも大会実行委員が丁寧にお教えします。第2回、第3回と菊の植え替えを行い、立派な大菊を育て上げるお手伝いをします。菊花大会公式ツイッターでも情報を発信します。	
「岩崎城刀劇隊 ミニ剣術道場」 7月11日（日）・8月22日（日） 11:00～/14:00～ ※雨天の場合、 7月18日（日）/8月29日（日）に延期 参加無料・定員なし	岩崎城刀劇隊による剣術体験です。簡単な刀の扱い方、剣舞やポーズなどを練習します！ ★体験した職員からのコメント★ 「肩こりが解消されました！」	
「第2回岩崎城歴史講座」 **「にっしんの棒の手と馬の頭」** 7月17日（土） 13:30～15:00 募集期間 7月6日（火）～7月16日（金） 参加費無料、定員 30 名	日進で古くから行われてきた民俗芸能、伝統行事である棒の手と馬の頭を紹介します。夏の特別展の関連講座です。	 日進市史 民俗編より
「にわさきくんマスクでお出迎え」 7月11日（日）、7月25日（日） 8月8日（日）、8月22日（日） 9月12日（日）、9月26日（日） 11:00～11:15、14:00～14:15	にわさきくんがマスクを着用してお出迎えします。出陣日にはにわさきくんのキャラ印も頒布しています。ぜひ遊びにおこしください！（距離を置いての写真撮影は可能です）	

イベント参加はすべて無料です。ぜひ岩崎城へおこしください。

「岩崎城だより」

発行日 2021年7月1日（年4回発行）
編集・発行 岩崎城歴史記念館

〒470-0131
日進市岩崎町市場 67 番地
Tel 0561-73-8825
Fax 0561-74-0046
http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakijo

◆開館時間
9:00～17:00

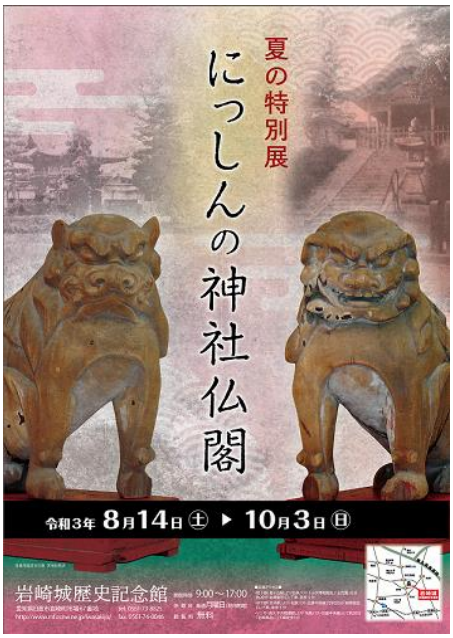
◆休館日
月曜日
（祝日の場合は開館）
12 月 28 日～1月 4 日

特別展

『にっしんの神社仏閣』

日進の人々がどのように神仏を崇拝し生活してきたのか、その信仰の歴史を紹介します。

■展示期間　8月14日(土)～10月3日(日)　■入館無料



収蔵品紹介

御嶽大神（おおなむちのみこと）

御嶽信仰の祭神である大己貴命（くにとこたちのみこと）・国常立命（すくなひこのみこと）少名彦命の神像。御嶽信仰とは、木曽御嶽山を中心とする山岳信仰である。江戸時代中期頃になり、尾張の覚明・江戸の普寛両行者によって全国的に御嶽信仰が普及した。しかし、御嶽信仰ははるか上代にさかのぼるともいわれている。

岩崎城の御城印・武将印紹介

ブームになったのは最近ですが、御城印の歴史は意外に古く、30 年ほど前に松本城が始めたのが最初とされます。岩崎城では「登城記念証」として令和元年から頒布を開始し、これまで限定版や武将印など合わせて12 種類が登場しました。登城の記念に集めてみてはいかがでしょうか？

＜通常版＞

★現在頒布中

＜武将印＞

★現在頒布中

＜にわさきくん　キャラ印＞

★現在頒布中

＜菊花大会限定版＞

＜フォトラリー限定版＞

＜旧暦4月9日限定版＞

＜岩崎城検定　受験記念＞

丹羽家ゆかりの人々

◆4代目岩崎城主丹羽氏次の長男 次男◆

丹羽氏信（うじのぶ）（一五九〇～一六四六）

2代目伊保藩主 初代岩村藩主。氏次の次男。天正十八（一五九〇）年、伊勢にて生まれる。幼くして父 氏次が亡くなってしまったため世継ぎを巡って争いが起こるも家老らの働きにより家督を継ぐ。大坂冬の陣、夏の陣に参戦。特に大坂夏の陣では水野勝成らとともに、道明寺口にて後藤基次を相手に奮戦、また天王寺口における決戦では、明石全登の軍を破り軍功を挙げた。江戸幕府の百人組頭、書院番頭を歴任し、美濃国岩村藩2万石へと出世した。

丹羽氏資（うじすけ）（?～一五九九）

氏次の長男。氏信の兄。天正十八（一五九〇）年、父氏次は家康に従うことを望むも秀吉の命により豊臣秀次に従うことになったため、代わりに家康に仕えることとなった。家康より上総国五木田村（かずさのくにごきた）、具明（ぐみょう）村を賜る。慶長四（一五九九）年に伏見城にて亡くなる。

小牧・長久手の戦いに関するイベント盛り沢山！

小牧山城で講座を行いました（れきしるこまき）「岩崎城から見た小牧・長久手の戦い」

三河中入り軍を前にした岩崎城の様子、岩崎城の戦いなどを取り上げました。岩崎城の詳細や氏次、氏重の話が聞けておもしろかった、また岩崎城に行きたいというお声も多くいただきました。

子ども向け歴史教室「小牧・ 長久手の戦い」

6月26日(土)
毎年恒例の子ども向け歴史教室を行いました。大人が聞いてもとても勉強になり楽しかったとのコメントをいただきました。

歴史講座「小牧・長久手の戦いの城砦（徳川軍編）」

小牧・長久手の戦いで戦場になった、あるいはその際に築かれた徳川の城や砦を一次史料（書状）を主に用いながら紹介しました！

次回は羽柴軍編です！
羽柴軍編：
10月16日(土)、
11月27日(土)

小牧・長久手の戦いワークショップ

子ども向け歴史教室での話を踏まえてワークショップを行いました。自分で研究テーマを決め、調べて発表します！

研究テーマ例：
「戸木城の戦い」
「井伊直政の赤備え」
「日進市にある城址と岩崎城の関わり、存在理由」
「蟹江城攻めによる家康・信雄の連絡線分断」
発表日：7月25日